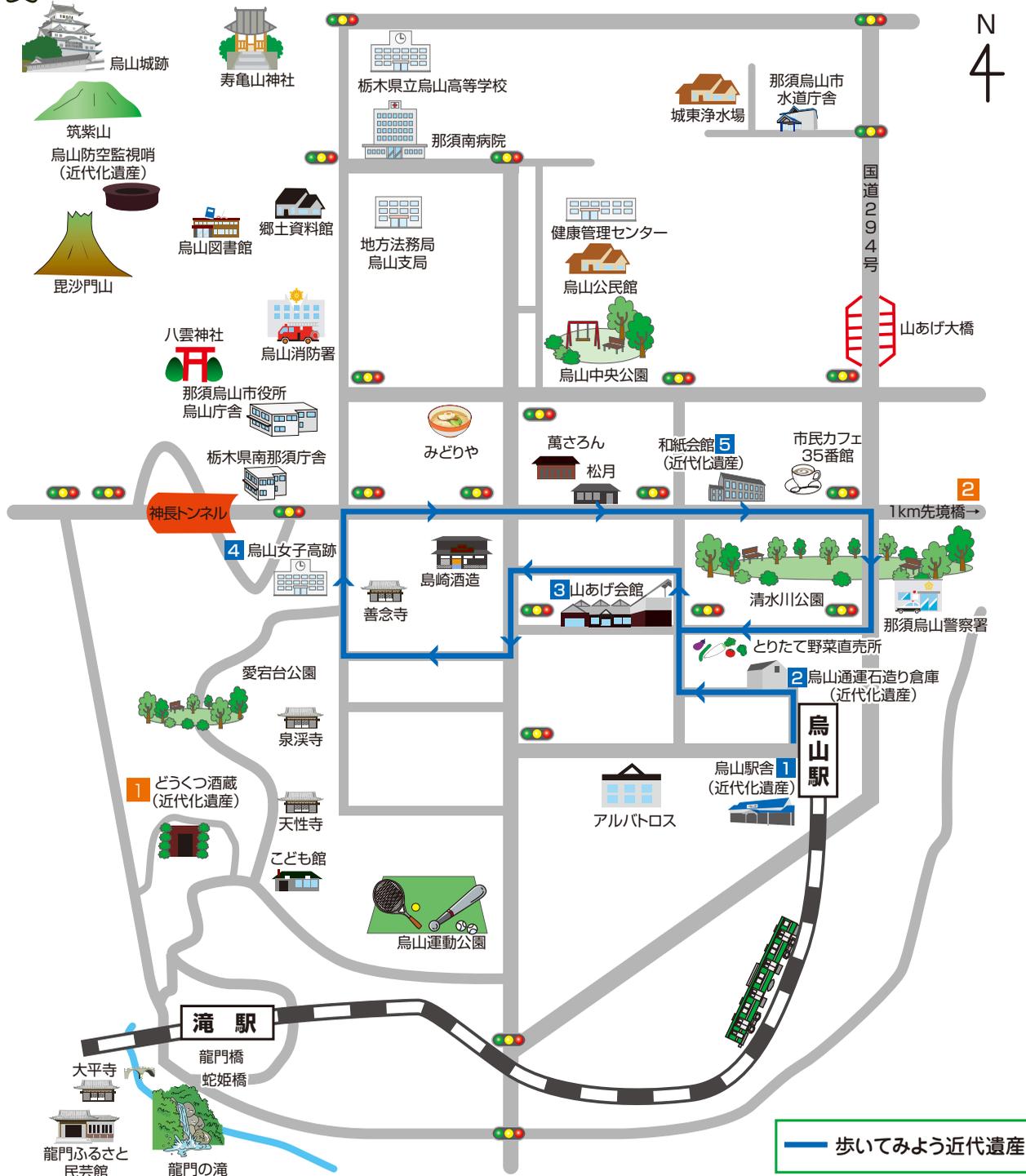




歩いてみよう近代遺産



1 JR烏山駅

大正12年の烏山線開通に伴い開設された烏山駅舎の構造は、瓦葺切妻屋根木造平屋建てで、当時の駅舎には2つのドーマー窓が存在しましたが、その後の改修で撤去。しかし、全体の輪郭は当時を彷彿させています。地域産業の興隆や文化移入の窓口として貴重な歴史遺産です。

↓ 100m

2 烏山通運(株)石造り倉庫群

烏山通運(株)石造り倉庫群。烏山駅前に、重厚な佇まいをみせる石造りの倉庫が3棟併設されています。大谷石造りで昭和14年に2棟、15年に1棟造られました。建造当初の入口は欠円アーチであり、現在は使用されていません。建物の正面・側面・背面には多数のバットレスが設置されており、その景観は圧巻です。

↓ 400m

3 山あげ会館

那須烏山市金井2-5-26 TEL 0287-84-1977

450年の伝統を誇る日本一の野外劇「山あげ祭」をロボットのお爺さんの語り部で再現しています。実際に使用されている屋台の展示や大型スクリーンで祭事を紹介しています。

↓ 700m

4 烏山女子高跡

旧町立烏山実践女学講堂。烏山町立実践女子学校は大正10(1921)年に烏山尋常小学校に併設され開校しました。講堂は昭和13年(1938)年に当時の町長新井萬吉氏からの寄贈により建築されました。庇の上にはベエネチアンウインドが設けられ、3本のピラスターの飾り柱が優美な雰囲気醸し出しています。

↓ 1.1km

5 和紙会館

那須烏山市中央2-6-8 TEL 0287-82-2100

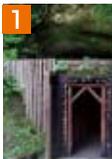
旧烏山病院(現烏山和紙会館)。旧烏山病院は大橋清吉氏を発起人代表とする地元の実業家数名が当時の金額にして6万円の資金を募り、株式会社烏山病院として大正12年に開業されました。現在は烏山和紙会館として再生されています。建物構造は木骨モルタル二階建て、切妻屋根の擬洋風建築物です。縦長の上げ下げ窓や半円形のドーマー窓など、ドイツ表現派建築の影響が見られます。

↓ 1km

JR烏山駅



周辺観光



1 どうくつ酒蔵
東京動力機械製造(株)地下工場跡(島崎酒造どうくつ酒蔵)。この洞窟は、第2次世界大戦末期に戦車を製造するために建造された地下工場跡です。周辺の半地下工場では、20台の戦車が製造されたといわれますが、この地下工場では戦車を造ることなく終戦を迎えました。高さ、幅とも3.5mの3本の坑道とそれを結ぶ5本の横構で構成され、総延長は600mにもなります。現在は、酒蔵として使用され、地域のイベントや映画の撮影にも活用されています。



2 境橋
境橋は、主要地方道常陸太田那須烏山線の那珂川の渓谷に架けられた橋長112.5mの上路式RCオープンバントレル(開腹=間隙のある側壁)アーチ橋です。シルエットそのものが意匠性に優れているといわれています。現在の橋は昭和12年に竣工した3代目の橋で、設計者は橋梁設計の第一人者成瀬勝武です。橋脚上には半円バルコニーが左右対称に設けられており、全国でも8橋しかない貴重なものです。那珂川屈指の景勝地に融合した優美な景観から平成19年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。

お問合わせ 那須烏山市役所 商工観光課 TEL 0287-83-1115
那須烏山市観光協会 TEL 0287-84-1977

歩いてみよう近代遺産